

平成29年度から森林整備活動を開始した民間団体の記録

頁	民間団体	活動場所		関係局・署	
		県	市町村	森林管理局	森林管理署
1	一般社団法人 森の防潮堤協会	宮城県	仙台市	東北局	仙台署
4	公益社団法人 ゴルフ緑化促進会	宮城県	仙台市	東北局	仙台署
7	ノースジャパン素材流通協同組合	宮城県	名取市	東北局	仙台署
11	東邦銀行	福島県	相馬市	関東局	磐城署

注：東邦銀行においては、平成29年度から福島県東相馬市で活動を開始し、平成30年度及び令和元年度から同市の別な箇所でも活動している。

団体名	一般社団法人 森の防潮堤協会
社会貢献の森の名称	いのちを守る森の防潮堤
活動目標	仙台地区の海岸防災林の再生及びいのちを守る森の防潮堤をつくること
活動年度	平成 29 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県仙台市若林区荒浜字田ノ神国有林 88 林班ハ 2 小班ほか 年度：平成 29 年度 面積：0.51ha 樹種：タブノキ（2,368 本）、シラカシ（740 本）、アカガシ（370 本）、ウラジロガシ（740 本）、アラカシ（370 本）など合計 7,400 本
活動概要	植樹、保育（草抜き・補植）など なお、植樹祭時の活動写真は下記サイトをご覧ください。 http://morinobouchoutei.com/?p=3262

1. 活動への感想

特にありません。

2. 活動にあたっての工夫

保育（草抜き・補植他）については、地元高校生やシルバー人材を動員しています。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

保育（草抜き・補植他）を中心に実施する予定です。

4. 海岸防災林への期待

特にありません。

5. 活動状況



標柱写真（平成 29 年 5 月 31 日撮影）



植栽初年度：植栽木の成長の様子
（平成 29 年 4 月 24 日撮影）



植栽 2 年後：植栽木の成長の様子
（平成 30 年 4 月 23 日撮影）



植栽初年度：植栽木の成長の様子
（平成 29 年 4 月 25 日撮影）



植栽 2 年後：植栽木の成長の様子
（平成 30 年 5 月 31 日撮影）

団体名	公益社団法人 ゴルフ緑化促進会
社会貢献の森の名称	ゴルファー未来の森 仙台
活動目標	被災地海岸防災林再生支援活動として、宮城県の海岸林植樹活動を、地域の方々やNPO等との協働により取り組むことにより、豊かな海岸防災林の再生に寄与するとともに、地域の復興に貢献することを主な目的とする。
活動年度	平成 29 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県仙台市若林区荒浜字田ノ神国有林 88 林班ハ 2 小班ほか 年度：平成 29 年度 面積：0.20ha 樹種：抵抗性クロマツ（1,000 本）
活動概要	宮城県の海岸防災林の再生に協力するためにNPO法人の協力を受けて実施しました。平成 29 年 5 月 2 日からNPO法人（宮城県森林インストラクター協会）が植樹の準備を行い、5 月 14 日にイオンチアーズクラブ、みどりの少年団、一般親子等 89 名が参加して「抵抗性クロマツ」の植樹活動を実施しました。 当日は小雨が降り続く悪天候でしたが、参加した親子や団体の子どもたちは、一生懸命活動し、宮城県森林インストラクター協会が準備したネイチャークラフト等も楽しんで帰りました。 その後、8 月と 9 月に除草作業を実施しました。平成 30 年度と令和元年度にも年 2 回の除草作業を実施し、現在も順調に生育しています。

1. 活動への感想

実際に参加しなければ分からなかったことが多く、自ら参加する意義を強く感じました。

イベントへの参加者、特に子どもたちは、開放的な海岸防災林空間でとてもいきいきと活動しており、また、山林への植樹活動よりも簡単で安全に作業が楽しめるため、貴重な機会だと感じました。

海岸防災林は環境教育の面からも貴重なフィールドで、環境教育事業等の経験豊富なNPO法人と協働することにより、植樹と合わせてさまざまな体験機会を提供することができました。

2. 活動にあたっての工夫

「ゴルファー未来の森」の名前のとおり、ただ植樹して終わりにならないように、寄付をいただいた方々や植樹活動に参加していただいた方々の海岸防災林への思いを未来に引き継ぐため、以下3点を特に工夫しました。

- (1) 普段から環境教育活動に取り組んでいる2つのイオンチアーズクラブと、普段から緑化活動に取り組んでいる2つのみどりの少年団に参加してもらうことにより、海岸防災林植樹活動を、環境教育活動や緑化教育活動の一環としてとらえ、未来につなぐための緑化意識の醸成を図りました。
- (2) 自然体験イベントの経験豊富なNPO法人と協働することにより、植樹以外の環境教育・自然体験要素を組み込んだ活動を実施し、参加者に対し海岸防災林での楽しい思い出を持ち帰ってもらうことができました。
- (3) 同地区で頻繁に活動を行っている地域NPO法人と協働することにより、植樹後も定期的な巡視、必要な補植、除草作業等を丁寧に行うことができました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

協力NPO法人との協働により、これから3年程度は毎年1回か2回の除草活動を行うとともに、成長後の枝打ち、除伐等第二段階の保育作業については、仙台森林管理署の指導のもとに最善の作業を行っていききたい。

4. 海岸防災林への期待

海岸防災林の周辺は、緑地公園や施設等の整備が進められており、将来的には、海岸防災林も含めた複合的な環境教育・減災教育・自然体験フィールドになっていくことが期待されます。

子どもたちの自然体験機会の減少によるさまざまな弊害が懸念される中、楽しく安全な環境教育・減災教育・自然体験フィールドとして、積極的に海岸防災林の多角的な活用が図られていくことを期待したい。

5. 活動状況



モニュメント



平成 29 年.5 月 14 日 記念撮影



平成 29 年 8 月 初年度苗木



令和元年 9 月 2 年後苗木



平成 29 年 5 月.14 日 植樹活動状況



平成 29 年 8 月 除草活動状況

団体名	ノースジャパン素材流通協同組合
社会貢献の森の名称	ノースジャパン 100 年復興の森
活動目標	・ 人工林の森林資源サイクルの構築 ・ 企業の社会的責任の推進 ・ 東日本大震災からの復興を支援するとともに、再造林の実行確保の普及啓発
活動年度	平成 29 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林 89 林班い 2 小班 年度：平成 29 年度 面積：0.08ha 樹種：抵抗性クロマツ（400 本）
活動概要	ノースジャパン素材流通協同組合（以下、ノースジャパン素流協）では、事業運営として5つの方針をかげ、その中で「人工林の森林資源サイクルの構築」と「企業の社会的責任の推進」に取り組んでおり、森林の再生、特に再造林の実行確保を推進しています。本活動に参画することにより、社会貢献事業として、大震災からの復興を支援するとともに、再造林の実行確保の普及啓発を進め、併せて後継者育成活動の一助とします。

1. 活動への感想

この再生活動は、当組合員とその後継者や従業員、当組合職員等、毎年多くの参加者があり、震災復興に携わる活動を行っております。こうした活動に参加していただくことで、海岸防災林の整備ができ、あわせて参加者の記憶にも残ることと思います。

2. 活動にあたっての工夫

当組合では、月1度程度の植栽地の巡視・清掃を実施しています。また、年間行事として、当組合員（後継者含む）、当組合職員の参加で、下刈、植栽、追肥等の作業を毎年行っております。平成29年度は7月、平成30年度は6月、令和元年度は8月に実施し、11月には植栽地入り口の階段補修も行いました。

このように、多くの人たちが参加して防災の意識を新たにする機会を設けています。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

組合員のみなさまの参加による森林整備を行うと共に、継続的に巡視、清掃、下刈等を行っていく予定です。

4. 海岸防災林への期待

被災前のような姿に早く戻って、諸機能を果たしてほしいと思います。また、後背地に公園の整備もされていることから、海岸防災林と一体となった環境教育やレクリエーションの場として整備が進むことを期待しています。

5. 活動状況



「100 年復興の森」標柱(平成 29 年 5 月)



看板記念撮影



植栽初年度(平成 29 年 11 月樹種クロマ)



植栽3年後(令和元年 12 月樹種クロマツ)



組合員参加下の下刈作業
(平成 30 年 6 月)



組合員参加下の下刈作業
(令和元年 6 月)



植栽前の水路掘り(平成 29 年 5 月)



植栽風景(平成 29 年 5 月樹種クロマツ)



補植作業(令和元年6月)



追肥作業(令和元年6月)



階段補修(平成30年11月)



補植 保水ジェル(平成30年6月)

団体名	東邦銀行
社会貢献の森の名称	とうほう・みんなの防災林
活動目標	相馬市松川浦海岸は、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた場所であり、豊かな景勝地の再生と、津波や暴風から地域を守るため植林活動を実施。
活動年度	①平成 29 年度～ ②平成 30 年度～ ③令和元年度～
植栽地区の概要	①箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 29 年度 面積：0.14ha 樹種：抵抗性クロマツ（750 本） ②箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 30 年度 面積：0.15ha 樹種：抵抗性クロマツ（800 本） ③箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：令和元年度 面積：0.12ha 樹種：抵抗性クロマツ（630 本）
活動概要	植林活動は、環境保全活動の一環として、平成 21 年度から福島県内においてボランティアの役職員や家族により例年実施しています。 平成 29 年度から令和元年度までの 3 年間にわたり植林活動を行った相馬市松川浦は、東日本大震災による津波危害を受けた場所であり、津波や暴風から地域を守るため、そして松川浦の豊かな景勝地の再生のため植林活動を行いました。

1. 活動への感想

平成 29 年度から令和元年度までの植林活動において、延べ 270 名の行員とその家族が参加し、子どもたちも懸命に植林をしている様子が見受けられました。

また、植林活動参加のため、震災以降初めて相馬市松川浦を訪れた参加者もあり、同地の現状を把握するとともに、復興への想いを熱くする様子も見受けられました。

2. 活動にあたっての工夫

植林地については協定期間中（5 年間）、補植・下刈等森林整備が必要です。これまで担当部署数名で整備は行ってきましたが、3 カ年分の植林地の整備に加え、今後植林を予定している植林地についても整備を要することから、担当部署に限らず規模を拡大して整備活動を行う等検討していく必要があります。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

植林地の視察および補植・下刈等を定期的の実施する予定です。

4. 海岸防災林への期待

将来的に成林したクロマツが、津波や暴風から地域を守る海岸防災林として成長することを期待します。また、弊行では毎年小学校において、森林セラピストを招いた森の授業を環境教育の一環として実施している中で、海岸防災林への子供たちの視察を教育機関等と連携して行うなど、今後、有効に活用されることを期待します。

5. 活動状況



看板(2019 年)



看板前記念撮影(2017 年)



植栽初年度(2017 年、クロマツ)



植栽2年後(2019 年、クロマツ)



活動写真(2017～2018 年は植えやすいよう事前に穴を掘って準備し当日植林)



活動写真(2019 年は事前に植林箇所に印のみ実施。当日は穴を掘るところから実施)